

刊夕日七十月八

常警日新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
廣告料 五字一円 十字二円 二十字三円 三十字四円 四十字五円 五十字六円 六十字七円 七十字八円 八十字九円 九十字十円 百字十一円
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常警日新聞社 電話 六二〇
印刷所 常警日新聞印刷株式会社

政策の變換を希望

川平生

近時多數國民はその生活上の困窮を稱して非常時時代と云ふ。そして時局匡救策だ何んだかんだと上は一國の大宰相より下は一町村の小吏までが大騒ぎである。や國家を擧げての大騒ぎである。それも成程尤もだ併しながら吾人の如き無識迂遠な者の考へでは多大の國費でヤレ土木事業を起すの、或は政府米の廉賣拂下等その他位では全く農山漁村の一時の急を糊塗するやうなお祭り騒ぎに過ぎず、迎も永遠性がなく到底長くは安定も幸福も得られず、跡に残るは言はずもがな多大の國債位のものである。

ノート

ゲンノシ ヨウコ茶 は胃腸病に、黒豆茶は咽喉の病氣に、昆布茶は血脈の高い人によい。

そこでこの際多數國民が眞に永久の生活安定を期するには、單に所謂時局匡救のみでなくガラリと變換するの要がある。そうして官民共に眞面目にやらねばならぬ。併し世の大官なる人

方の多數は一度口を開けば一身を國家に捧げ粉骨碎身最後の御奉公を致すなんて如何にもらしき御宣託なれど、失禮ながら一度その榮冠を得れば只管に自己の地位と一家一門の名譽と、及び私慾のために嚙りつき、而して最後の生命惜しさのためアハレ折角の勇氣も失せて何事も爲し得ないものである。これでは何時まで経つても國民は浮ばれぬ。乞ふ一思ひ切つてこの際徹底的にやつて貰ひたいものである。

【朝】みそ汁一さつま芋

【書】精進あげ一たうなす

【晩】菊の葉一合せ醬油

地相ノ堂町平
人事ノ島野
百數ノ前易
鑑定ノ所定
地番一前島
所象斷定野

八月十八日丙辰、黒友引成【一白】目に見て手に入らざるの金談あり爲に不平不満を起す勿れ【二黒】運氣盡帯萬事凶日なれば現狀維持が吉【三碧】縁談や金談に吉兆を得る日又遠行の志も起る【四綠】名譽なるか給料揚るか【五黄】金は手に入り貴ひ物はあると云ふ萬事吉の日唯家内に口舌を起す勿

品質第一

電話二六八番

所乳搾平

平町・九品寺前

イワキ
サロソ

電 352

美味で！
評判の……

お醤油は……ヤマフル

醤油味贈
たひら 正宗
鯉節 食料品

山崎合名會社

鹽屋
福島縣平町電話營業部二醸造工場
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

貸家

此度裏手に新築移轉する事になりました。就きましては從來の店舗をお貸し致しますから、御希望の方は御來談下さい。如何なる商賣にも適します。

平町四丁目三九

新妻文吾

◇在庫品整理の爲め大廉賣致します。

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
平町田町 電話五一三番
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

磐城セメント會社特約店

久全屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は生命なり

外科

門專光X
科線科

上田外科醫院

平町南町
電話一二九番

恐ろしい疫癘の流行期!!!

◎毎年六月始めより十月と申します
◎死亡率統計百人中六十五人以上として居ます
まづ豫防に経口免疫の
北里研究所造疫癘内服ワクチンを
價格 幼児一人分三十錢 大人一人分五十錢
(文献進呈)

特約店 西村屋藥局

平町二丁目 電三

外科

X光線科
性病科
外科科

入院隨意

安齊外科醫院

平町田町
電話四七五番

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雜誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

干害對策問題から 郡農會廢止の叫び

被害地の町村農會長等が 無關心な態度に憤慨して

石城郡南部地方の植田、勿來、小名濱、玉川、泉、山田、豊間各農會長等は旱害對策につき郡農會が殆んど無關心の態度をとつて居るのを憤慨し近く農會長並に町村長會議を開き獨立した見地から旱害對策を協議することとなつたこの問題が動機となつてさなきだに無用視されつゝある郡農會に對する廢止の叫びが高くなりその成行を注目されてる

紺屋青年役員 平紺

屋町青年分團にては去る十五日午後七時より住吉屋本店に於て定時總會を開き役員を左の如く改選した

- (分團長)青天目源一郎 (副分團長)水竹仁 野木稔彌(評議員)中村定吉 水竹伊之助 松田利治 吉田武

前回よりも一錢高

第三回の小麥共同販賣

既報石城販賣組合の第三回小麥共同販賣は昨十六日同所内で執行總入數五百九十二俵にて市價一俵六圓十六錢の安値を見て居る折柄一俵六圓二十錢を以つて埼玉縣熊谷市日本製粉會社に落札し前回よりも二錢高の好成績を見た

大丈夫 豊年満作だ

農村に前景氣

石城郡駐在米山農業技術員の稲作調査に依ると植付以來例年になく氣温が高い結果發育良好で植田外七ヶ町村十四町一反二畝の植付不能による旱害を除き郡下水田九千町歩の總本體的には豊作を豫想され既に本月上旬より出穂し初めたので本月末舊盆前には殆んど出穂揃つて結實すべく早くも農村には豊年の前景氣を見て居る

研究發表

部會の交附金

東部聯合教育部會にては來る十一月十一日平第一小學校に開かれる總會當日の研究發表者一名宛を各小學校より募集中の處本日迄の申込は左記六名に達したので今月末決定するが指定發表者に對して部會より金十五圓を交附すると

中作漁港

設計變更

石城郡江名町字中ノ作漁港は七八兩年度に於いて工費十五萬圓の豫定で船溜二ヶ所を作る豫定であつたが最

湯本校佐藤勳司(暗算教授の系統案)勿來校萩生田智雄(夏井川及鮫川斷層線の地質學的研究)勿來校正木榮

庭球の豫選に 磐女

庭球部では來る九月十七日福島高女コートに於て開催される縣下女子中等學校明治神宮豫選大會に過般縣下女子中等學校大會に優勝した熊、渡邊、戸來、前田の二組を送ると

籠球練習

平第一校で

昨年の郡下小學校兒童籠球大會に惜しくも準決勝戦に敗れた平第一小學校籠球部では本日より磐中第三十一回卒業生明大籠球部選手門馬一雄君を招き猛練習を開始したが期間は約十日間の豫定である

常設館たより

- 平館 日活時代劇 河部五郎 大河内傳次郎 新妻四郎主演「彌次喜多太會」東京紅舞劇團のレビユー
- 世界館 新興時代劇 歌川八重子 山形直代主演「母の秘密」新興時代劇 河津清三郎 望月禮子主演「戀と十手と巾着切」阪東扇太郎 望月禮子主演「大江戸闇の唄」

植田警察署の新築

十一月頃迄には竣工する

石城郡植田警察署新築工事は工費八千九百餘圓で去る十一月より着行したが十一月頃迄にはモダンな新廳舎が竣工する豫定である

平町人事

- 回出生 △二丁目一〇 關内正一氏 四女蓉子
- △搔樋小路二四 當時横濱市中區花木町一ノ一一

回死

- △古鍛冶町三六 山崎豊氏 (二六)伊達郡上保原村字上保原渡邊ハナ(二六)
- △古鍛冶町三六 山崎浩氏 (二四)東京市本所區大平町四ノ二田中フク(二三)
- △立町八五戸主 小泉安之助(四四)
- △五丁目二七戸主 川保雄(四一)

磐城共濟病院

小兒科	內科	婦人科	外科	皮膚性病科	耳鼻喉科	X光線科	物理療法科	藥劑科	衛生試驗所
院長	醫學博士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	技師	技師	技師
石山謙郎	五十嵐雄二	有馬勇二郎	石山謙郎	石山謙郎	石山謙郎	石山謙郎	石山謙郎	石山謙郎	石山謙郎

外務社員採用

初任固定給 月三十圓

二十五才以上男女を問はず 履歷書携帶左記へ面談。毎日午後 平町田町一七 レストランサロン方 仁壽生命平駐在 吉田仁三郎 電話三五二番

木村病院

- 産婦人科 院長 木村寅次郎
- 婦人科 醫學士 内木宗八
- 整形外科 醫學士
- 泌尿科 醫學士

耳鼻咽喉科専門

醫學士 鈴木正男 平町田町(電話五八番) 藤田女學校前

齒科口腔外科

日本齒科醫學士 鈴木喜政 内郷村高坂磐城病院前 鈴木醫院

消防組單位の

防護團を組織

△防空演習を視察の

△平消防組が新企圖

各町村に飛檄

平消防組の有志は過般の防空演習の際上京し防護團の活動状況を視察したが將來の國家總動員に處すには監視、警報通信、燈火管制のみにては敵機の空襲に萬全の策を講じたとはいへぬのでこの際進んで防護團を組織し非常時國民としての訓練をなすことが必要だと近く郡各町村消防組その他各種團體に飛檄し消防組を單位とした防護團を組織し敵機空襲による爆弾、毒ガス彈投下に際しては第一線に立ち防毒消火救護等の處置を講じ眞に軍民一致防空に努める企圖であると

米穀商は此程組合を組織して組合長國府田國吉、副組合長草野晴伊、評議員宏一

青沼平町長

自治功勞者として

海軍演習陪觀御召

青沼平町長は来る廿五日横濱港外に於いて行はれる特別大演習觀艦式に際し本縣の自治功勞者として軍艦烏海に召され陪觀並に賜饌の光榮を擔ふ事となつた尙本郡より青沼町長の外に貴衆兩院議員及び赤十社に一萬圓を寄附した好問村小田吉治氏が夫々御召の光榮に浴すると

青年修養

松野尾氏講演

平町青年團にては来る二十日午後七時よりマルトモホールに於て月次修養會を開き松野尾辯護士の法律に關する講演あると

米穀組合新設

石城郡赤井村及び上下小川村の

成功の門出に

旅費の工面を

滿洲行の書置を見て
父親が驚いて搜索願

宮城郡亘理郡大堀村字上越農福田兼吉次男喜平(二)は去る十五日滿洲で成功する旨の書置を残し行衛を晦したが石城郡内郷村の友人を頼つて旅費の工面をして居るらしいからと本日平署に父親から搜索願ひ出た

債務調停

依然好成绩

平區裁判所に於ける金錢債務調停は昨秋實施以來成績良好で本日迄の受理件数は五百餘件に達してゐるが殆んど圓滿解決を見て居る

中指を噛み切る

立木拂下げから喧嘩

石城郡上小川村字福岡居住農兼本甚左衛門(三)は去る七日午後十一時頃同村字喜平居住矢内才七方で營林署の立木拂下げの事から同村箱崎安治郎(三)と口論の場句格闘となり箱崎の右中指を噛切つた事發覺傷害罪と

繭の輸送

トラックに奪

平驛吸引數

トラックの進出により漸次その領分を蠶食されて居る

酒類藏出

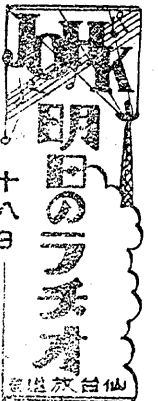
去月中調べ

平稅務署管内卅六酒造家去月中の藏出高は清酒六百石焼酎百三十石で前年同期に比し清酒八十五石の減、焼酎は四十七石の増加を見更に本年六月に比すれば清酒は百五十九石減、焼酎は十四石の増加で季節と需要の關係が明かに現れてゐる

幼児を

跳ね飛ばす

石城郡上遠野村鈴木自動車店方運轉手爲永喜(三)は



明日の天気
今夜は北西の風驟
雨あり明日は北東
の風晴雲半

明日の部

- 前六、三〇 夏期佛語講座
- 前七、三〇 井上源次郎
- 前八、五〇 野球試合實況
- 前九、一〇 料理献立「牛肉の山椒焼」
- 前一〇、三〇 家庭講座「子供の性質と感想に就いて」 松原至大
- 後〇、〇五 第二師團長稔彦王殿下御親迎會狀況

仙臺市公會堂中繼
後二〇〇 體講
後六、〇〇 (子供の時間) ラヂオ夕涼み(第六日) 「インクライン」だより」 京都インクラインより中繼 BK子供サークル

裁判所だより

十五日午後五時半頃植田町地内でバスを運轉中道路へ飛出した大工職吉田清長男清雄(三)を跳ね飛ばし顔面其他に傷を負はした

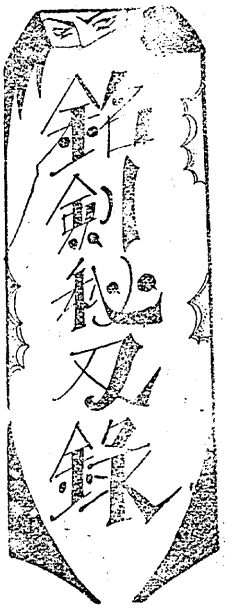
- △配達 十五才 尋卒 月十圓(東京市某)
- △小店員 十五才 尋卒 給料面談(平町某)
- △土工夫 二十才 日給七十錢 外面談(平町某)
- △回職を求める方
- △店員 二十五才 高卒 給料面談(平町某)
- △仕上工 十六才 高卒 給料面談(湯本町某)
- △給仕 十七才 高卒 給料面談(内郷村某)
- △菓子製造工 二十四才 高卒 給料面談(茨城縣某)

御愛乗下さい
シボレーに!
そは先驅者なり

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町 電一〇七



【禁無斷載上演映畫】
寶馬琴演
山本英春畫

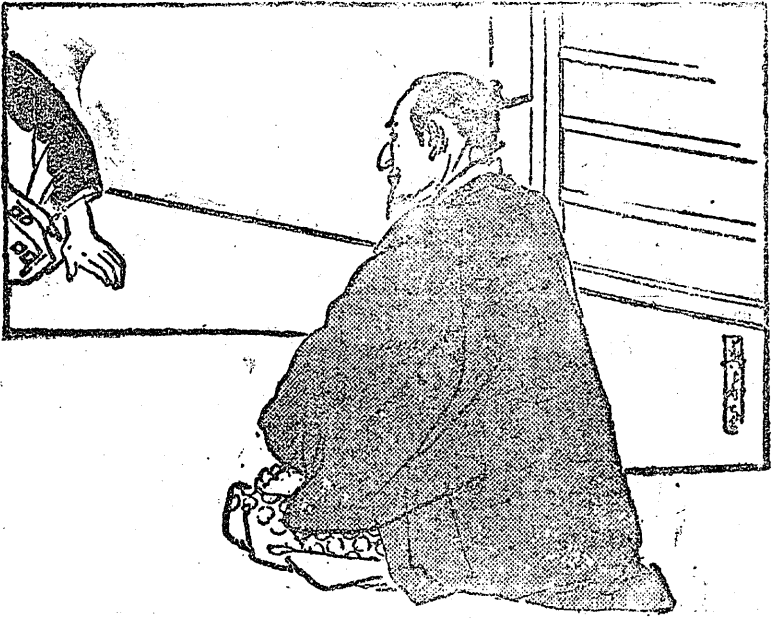
第十八回 血に飢ゆる村正

兼光に對面して

きた『殺された所に落ちてきた手紙には八十宿の段八様裏の名前は柳田の上宿金五郎よりしてある。扱は伴や嫁を殺したのは儘かに蝶の段八と知れて見れば片時も猶豫は出来ませず、庄屋初め村方のお方を頼んで、後を追駆けました。何處へ行つたか一向行衛も知れませんが、泣く泣く伴や嫁の死體は菩提所へ葬り、夫より百ヶ日の追善供養を濟ませ、元は由緒ある武家の出なるに、無頼漢の爲に命を落とすといふのは情ない事、夫も前世の約束と諦めを付けたやうなもの、御先祖に對して申譯がない、大膽不敵の者と思召しませいませうが、孫の菊名に助力して西は九州薩摩、北は越後の浦々まで、天を翔り、地を潜るの術あらば仕方がなければ、彼の者の往來する處を見届けたならば、御領主様へ願ひを上げ、逆縁ながら伴や嫁の仇を討つて、其の後に立派な孫を孫に配偶せ、椎田の苗字を繼がせんと故郷を去つて三津浪花の地へ参りまして天満

き、苦辛した易學を捨てて他の稼業に就こうといふ立派な申條に、此方も其の氣になりまして、遂に浪花を跡にしてそれより遙々當國へ参り、此處で貴所にお目に懸り、斯ういふ事をお咄し致しますのも何かの御縁、お笑ひ草までに申上げます』
と考婆のおきたが涙を流しての物語り、孫の菊名も共々にヨとばかり其處へ泣き伏しました。始終の様子を聞いた仙吾村正は古き本にも見えて居るが

筋の天玄堂理山といふ易の先生に見て貰ひました處、これは西の方角の鐵を取扱ふ處へ行けば自然に其の仇に出逢ふて其時力になる人が出来ると思召しました、何を空言をいふかと押返し



て尋ねますと、鐵を取扱ふ處といふのも火の中へ鐵を入れて夫を延べて刀の付くものと易の面に出て見れば先づ西國の刀鍛冶職が多く住んで居る邊りを尋ねて見ることが宜い萬々一が外れたら永年の間晝夜間心を

は總して長船一家と申し孫左衛門兼光乃至は長光、或は勘定、それ／＼備前鍛冶には有名なる者もあり、事に依つたら仇人が其處に居るかも知れん、何も縁だから此の村正が今日よりは及ばずながら力となり備前へ渡れば、名代の長船兼光といふ人は義侠に富んだる者ゆえ、諸事打明けて話をしたら、まさか嫌とは申すまい、心配なく此の村正に隣てお出であれ』
と言はれて餘りの嬉しさ

六十以上の御老母が年端も住かぬ小娘を連れて、伴や娘の仇を討たうとは實に健氣な思召し、義を見てせざるは勇なきに似たり、今の易者の言葉聞いて思ひ當る、西へといふは是より幸ひ備前の地へ参らば、彼地

きた『夫では仰せに従ひ宜しくお力を借り申して』
とおきたは孫の菊名の手を引いて、村正と共に備前長船の孫左衛門尉兼光の處を指して乗込んで来る。此の備前長船の住人孫左衛門尉兼光といふは、非凡の名人でありまして、此人の鍛えた刀は實に得難き程の名刀でございます。相模に居ります村正が、老女や少女を連れて参りましたから、兼光は不思議に思つて

兼『如何なる次第で當國へ來なすつたか、何か之には仔細のあることであらう』
と言はれて村正が
村『さて先生、貴所をお見掛け申して願ひたい事がございます、就てはどうかお召使の方を暫時遠ざけて下さるやう』
兼『ハハア餘程大事のことと見える……お前は何處かへ行つて來なさい』
と家内の者を遠ざけて兼『サア誰も他に聴くもの

ないから心措きなく話しをしない』
村『恐れ入りました、然らば一通りお話しをいたします、私は今度日本全國を歩き諸國の名刀鍛冶の流儀を見て、己れの扶けとなし、且つは國の名所古蹟を見置きますれば子孫への傳へ話にもなる事として、相模の國を發足いたし、五畿七道を行來いたして、神社佛閣へ参拜なし、此の山陽道へ漸く近頃参つたのでございます』

院醫科齒村中

七町冶銀町平

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇番

門專
婦産科
花柳病科
入院隨意
井坂醫院
平町田町 電話五五九番

●新築移轉開業御披露
十四日から移轉開業いたしました！
當日「五日間」粗品呈上
御披露のため當分特に「ランチ」金三十錢也
で勉強いたします……
コックさんも東都一流のうで利きを招きました。
女給さんは美人揃ひ之れまた東京仕込みのサービスでございます。
平町二丁目横
警察署前通り
カフェー平樂
電話二九六番

旭硝子株式會社製品
赤菱印
板ガラス
硝子食器
其他各種
松崎硝子製作所
平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電話五九七番)
支工場

小兒科。内科
特ニ乳幼兒ノ健康相談ニ應ズ。
平町 ねずみ坂
渡邊醫院
電話一六一番